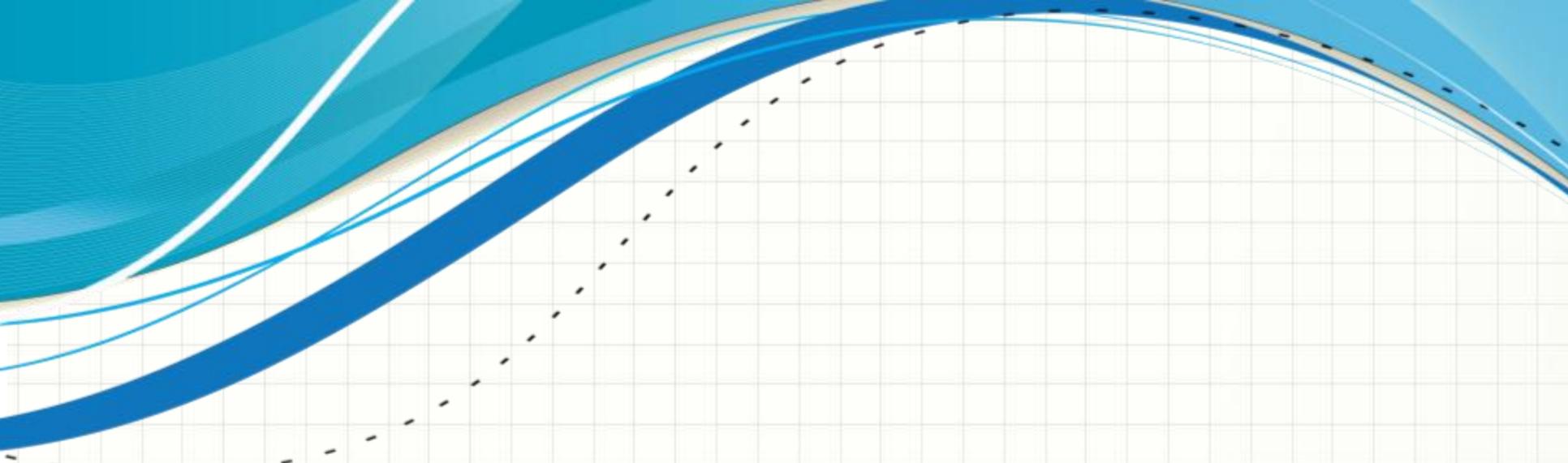


デジタル時代の大学出版

- 大学出版部の概要
- 学術書と出版流通と図書館
- デジタル時代の学術情報流通

橋元博樹
東京大学出版会



大学出版部の 概要

英国のUniversity Press

1468年

オックスフォード大学出版局による
『聖ジェロームの使途信条』

1455	グーテンベルク「42行聖書」
1474	カクストン「トロイ戦記」

米国のUniversity Press

1877 ジョーンズ・ホプキンスUP
UP Agency

学長、ダニエル・ギルマン
「大学には教育、図書館、出版が必要」

日本の大学出版

1872年 慶應義塾出版局

1886年 東京専門学校出版部

他 中央大学、電機学校 専修大学 玉川大学 など

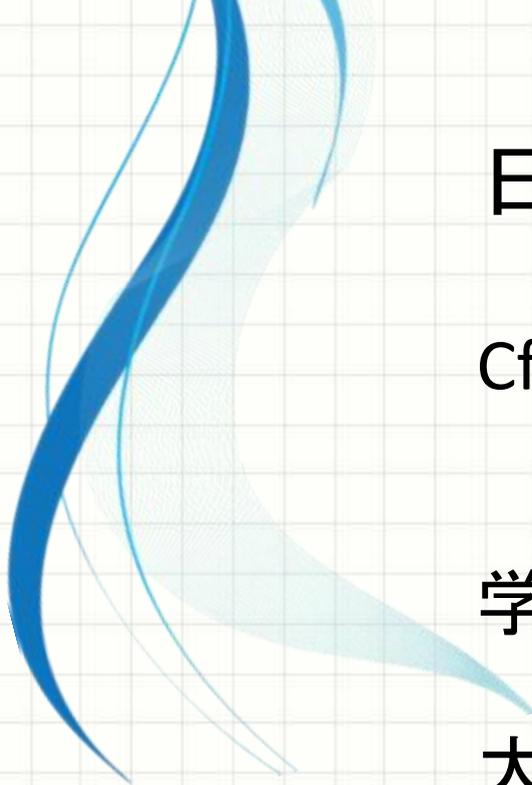
1951年 東京大学出版会

1963年 大学出版部協会

2011年現在 有限責任中間法人大学出版部
協会として32大学出版部が加盟

32大学／年間刊行点数約750点

(cf. 米大学出版部協会 120大学
9000点 点数で15%のシェア)



日本の大学出版部の特色

Cf. イギリス型／アメリカ型

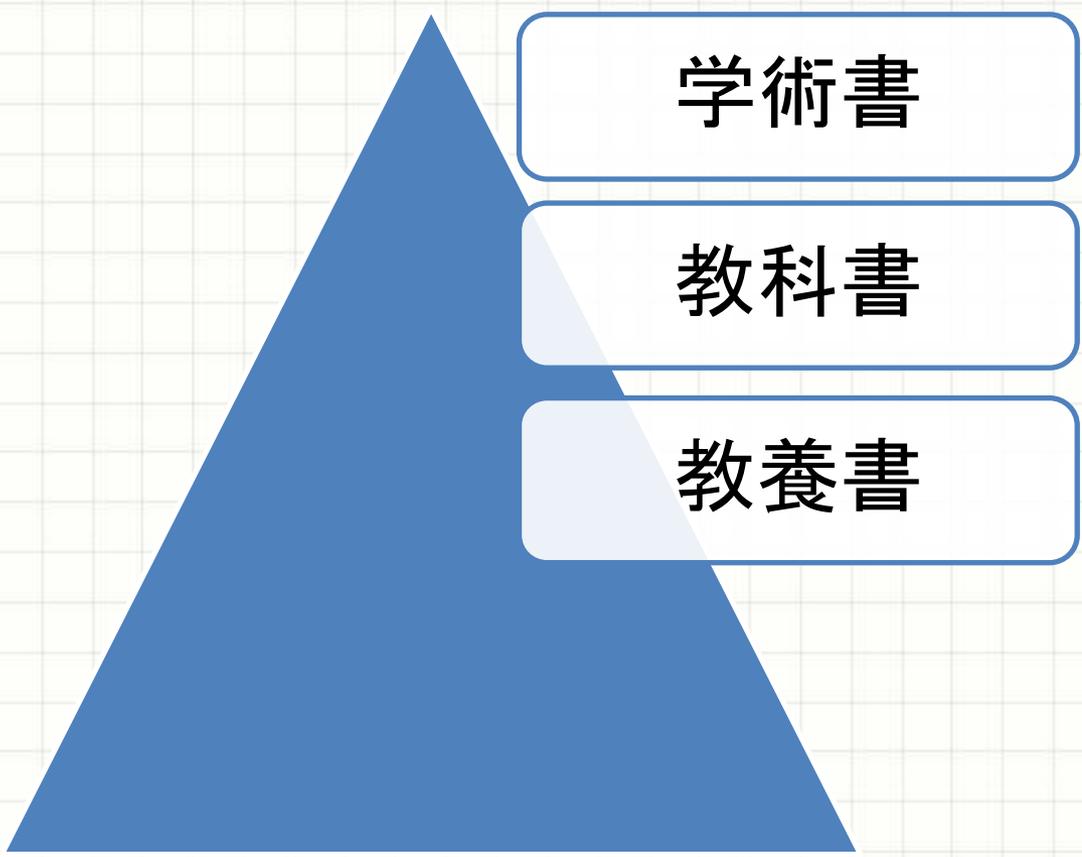
(大規模な商業出版社／寄付によってなりたつ)

学術書・教養書・教科書の刊行

大学との関係は多様(財団法人、株式会社、部局)

それでも、独立採算制を志向

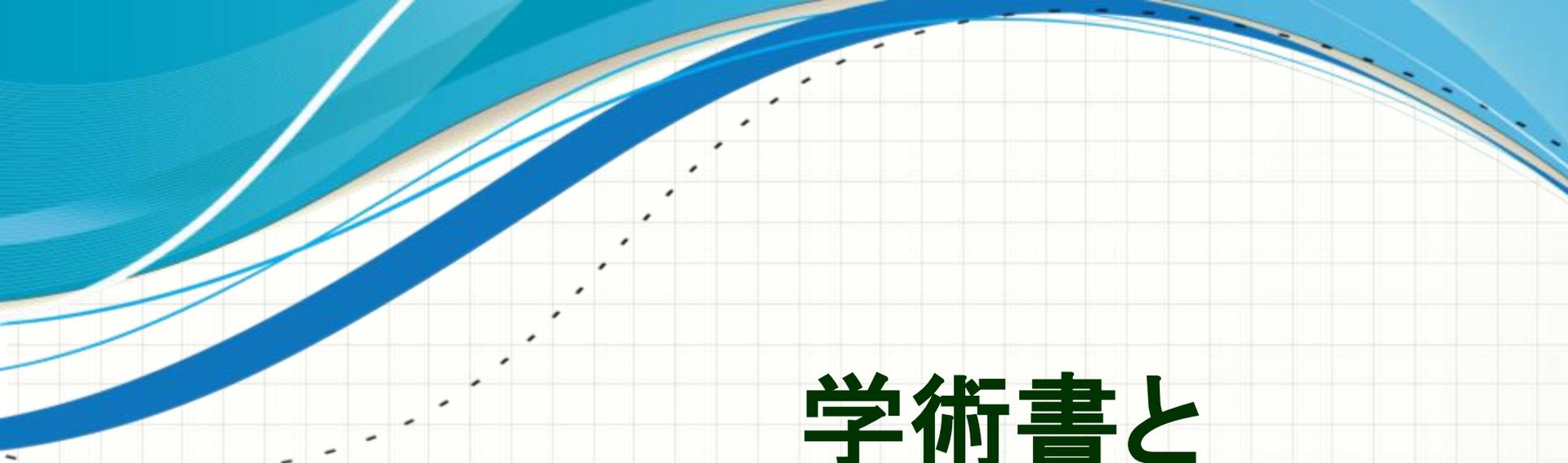
大学出版のマーケティング



学術書

教科書

教養書



学術書と 出版流通と 図書館

学術情報流通における出版社の役割

品質管理 ゲートキーパー



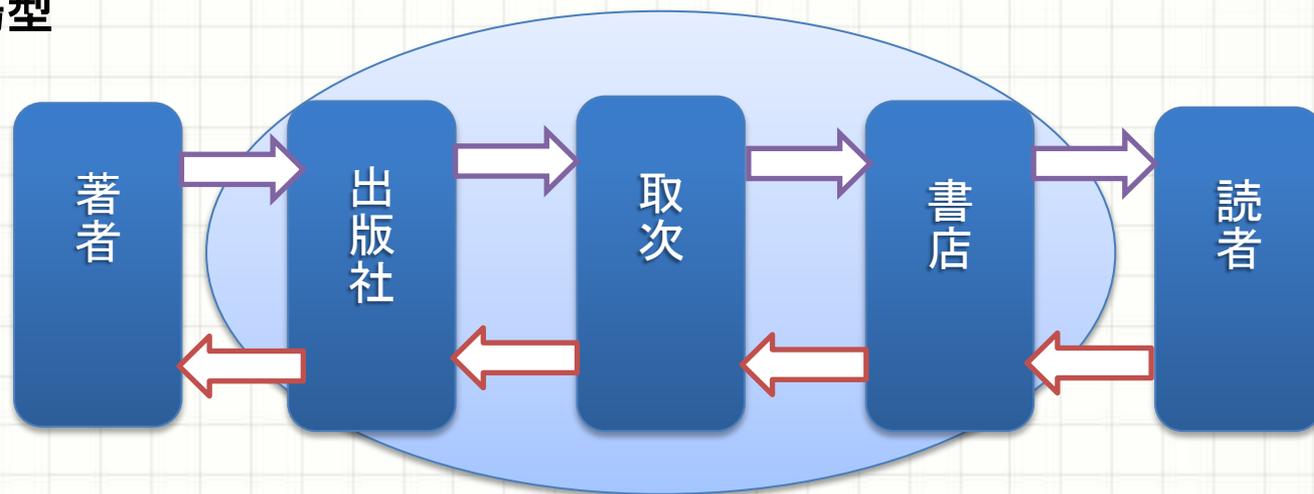
原価管理

流通管理



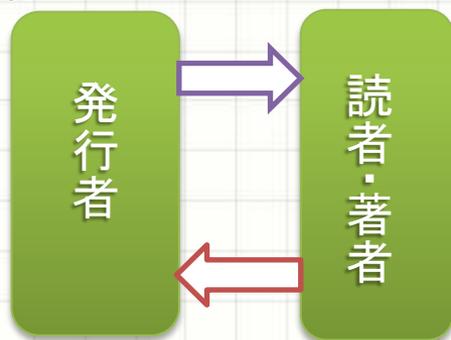
學術書流通

市場型

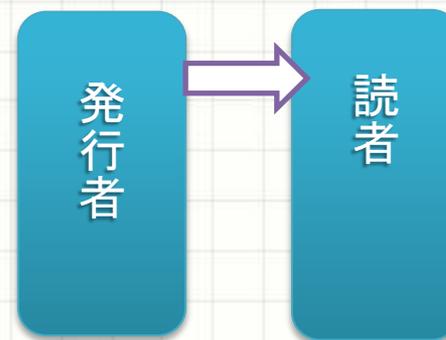


非市場型

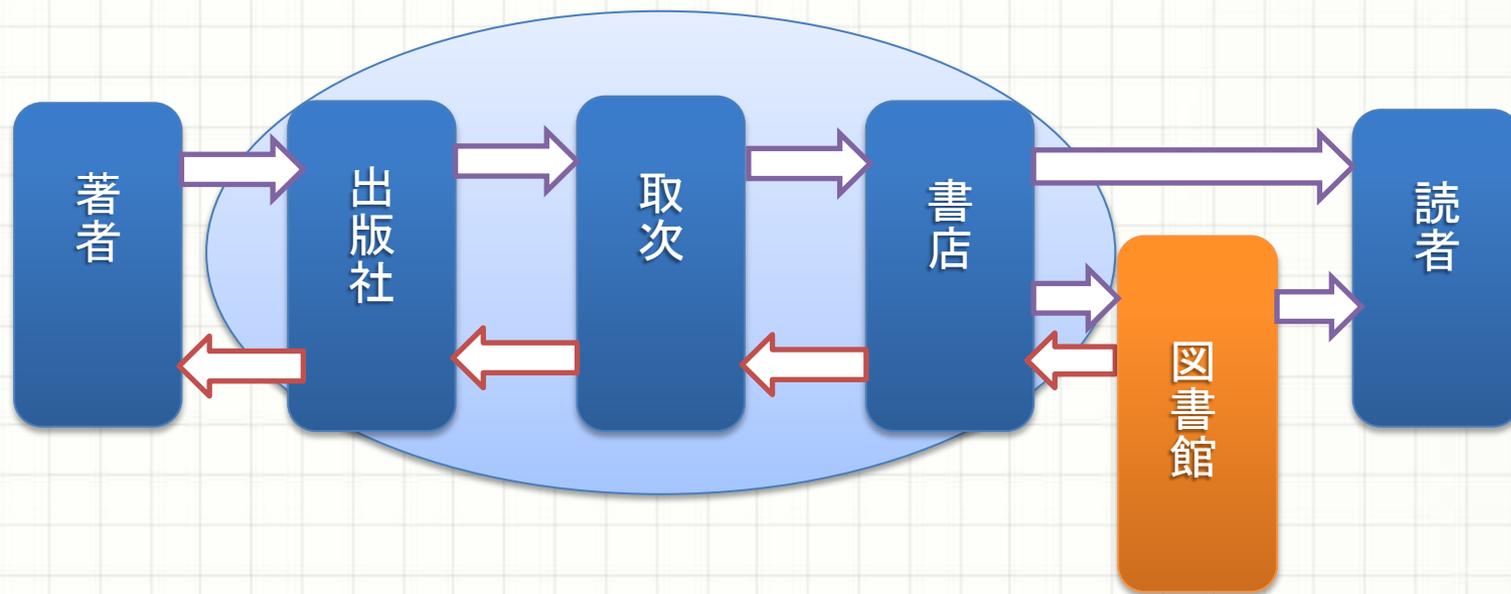
学会誌



紀要



学術書流通 図書館との関係で



5000円 × 1500部の新刊のケース
100～300部が大学図書館
50～100部が公共図書館

すくなくとも10%が
図書館購入

出版社にとって図書館の存在は・・・？

顧客

品質保証

学術情報流通の
担い手

学術情報流通の現状

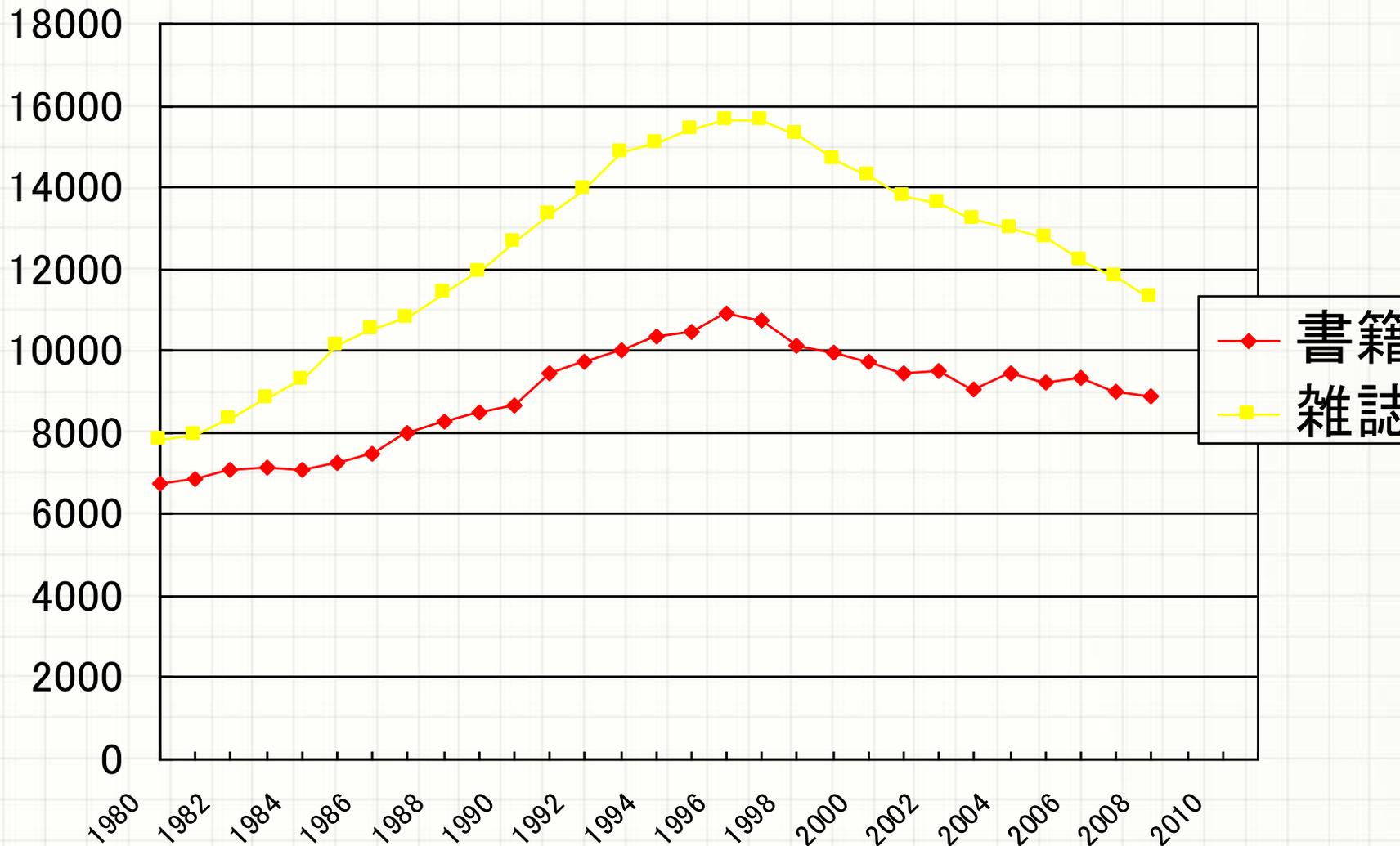
- 大学の独立法人化などによる情報発信への期待
 - 学術情報の増大・多様化
 - グローバル化への対応
- 

だが、学術書販売の低迷

ここには明らかに、ミスマッチがある。すなわち著者と読者のニーズに「学術情報流通」のプレイヤーたちが応えることができていない。

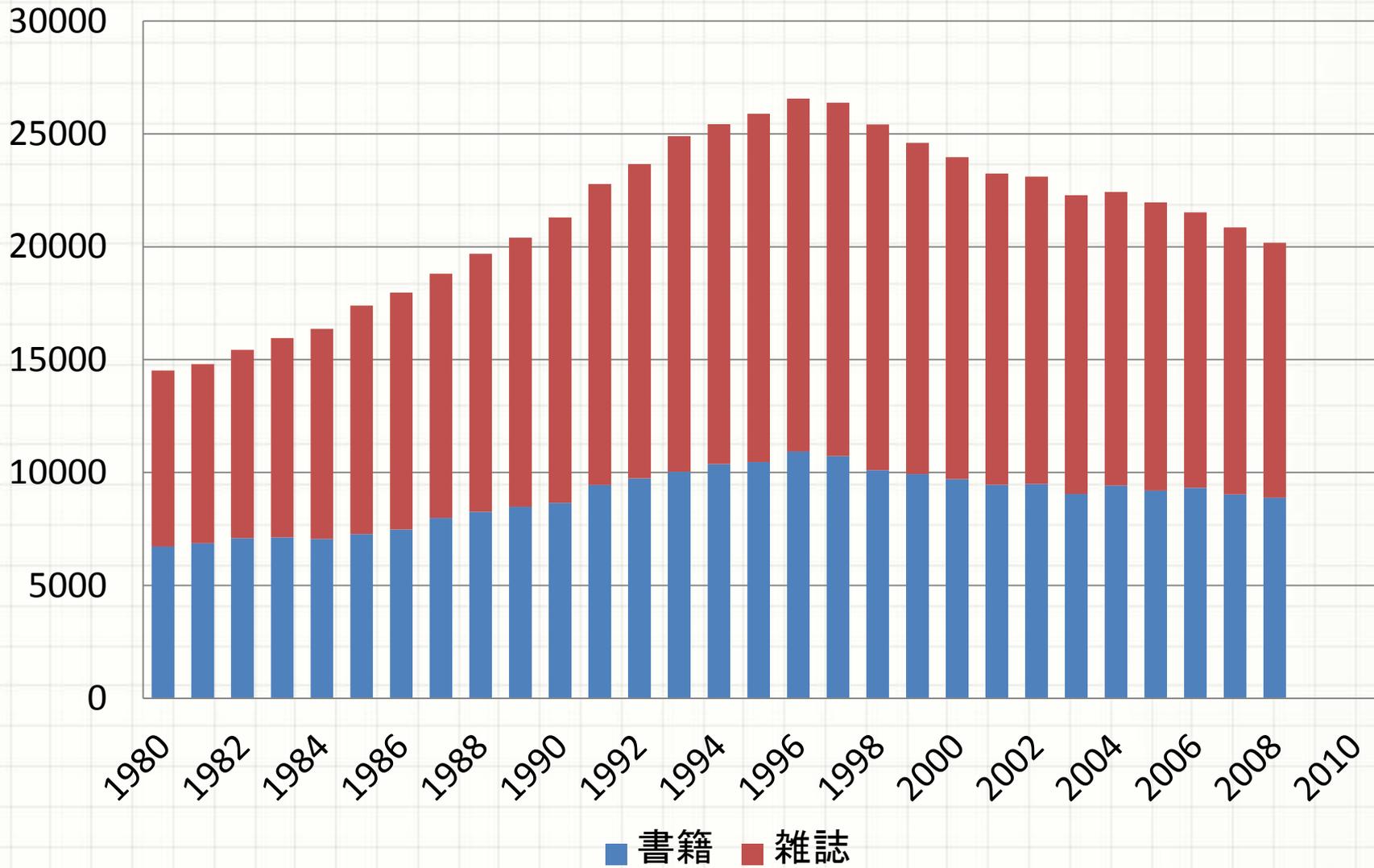
日本の出版産業の推移

「出版指標年報」データをもとに作成

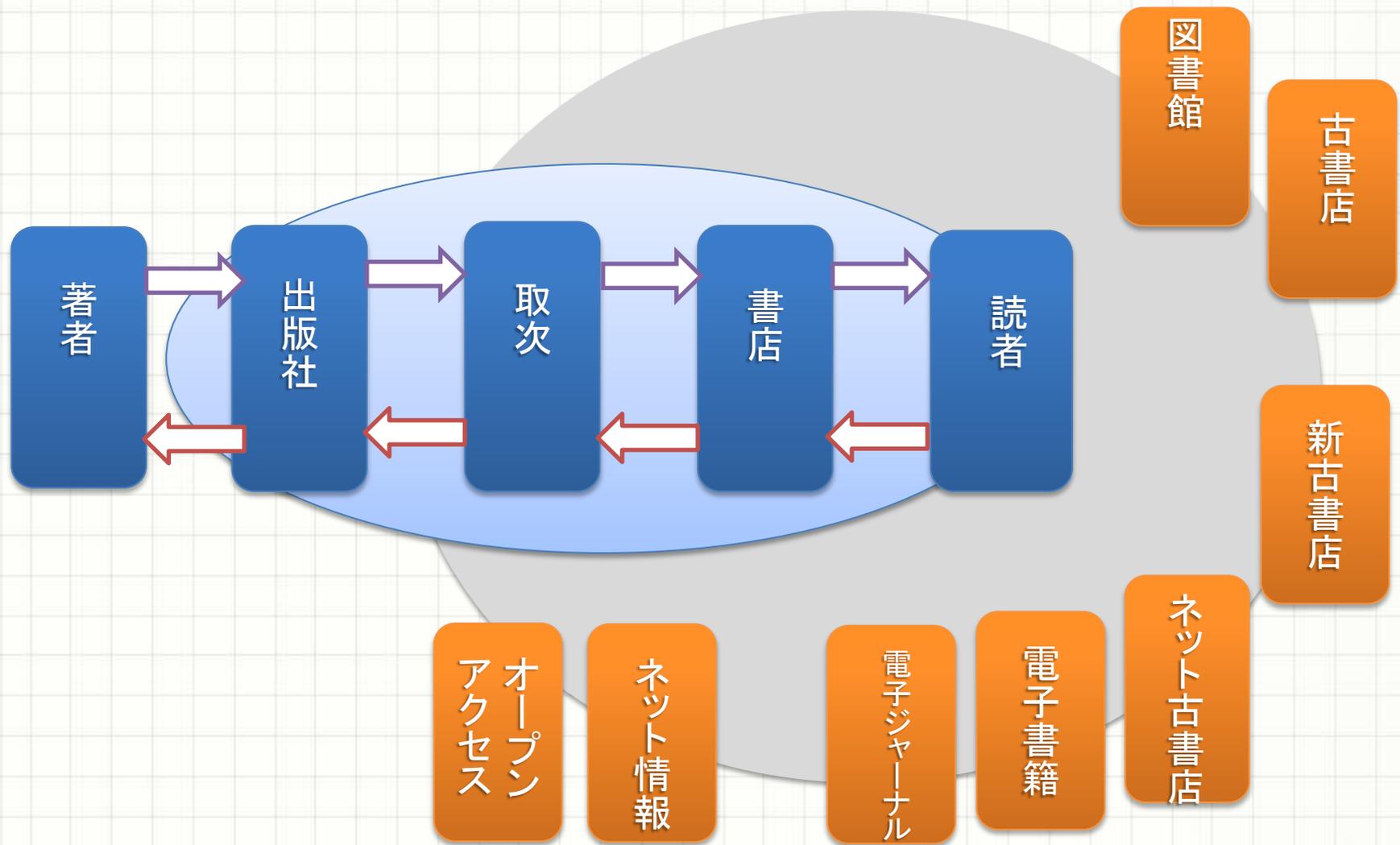


日本の出版産業の推移

「出版指標年報」データをもとに作成



拡散する書物流通、「読書」の多様化



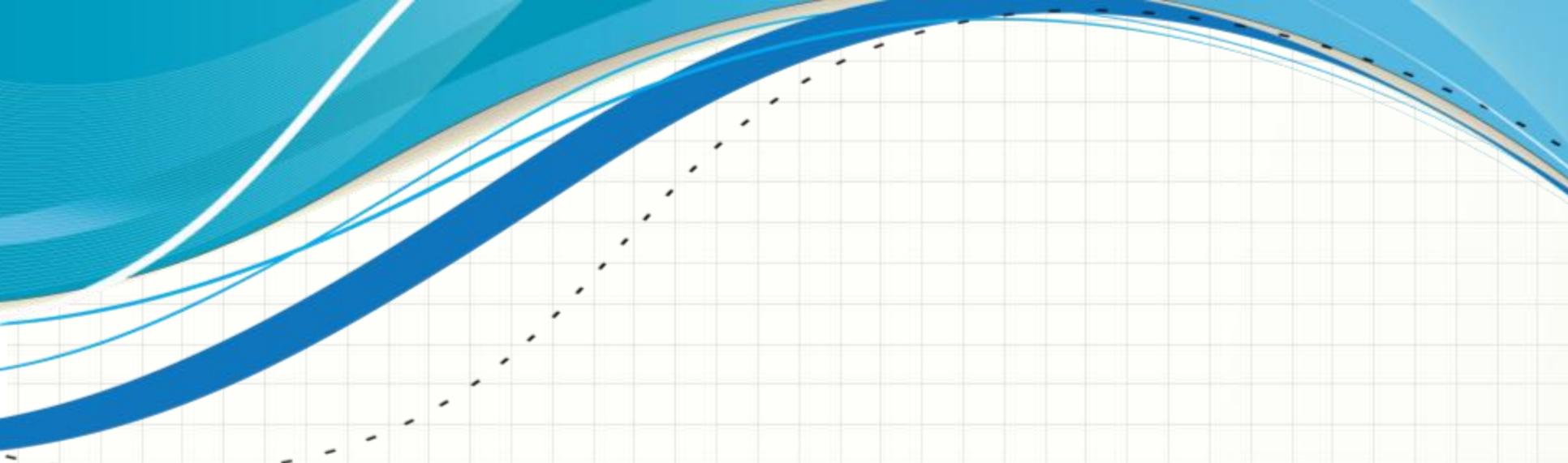
活字離れは起こっていない



読書スタイルと情報流通手段
が多様化しているにすぎない



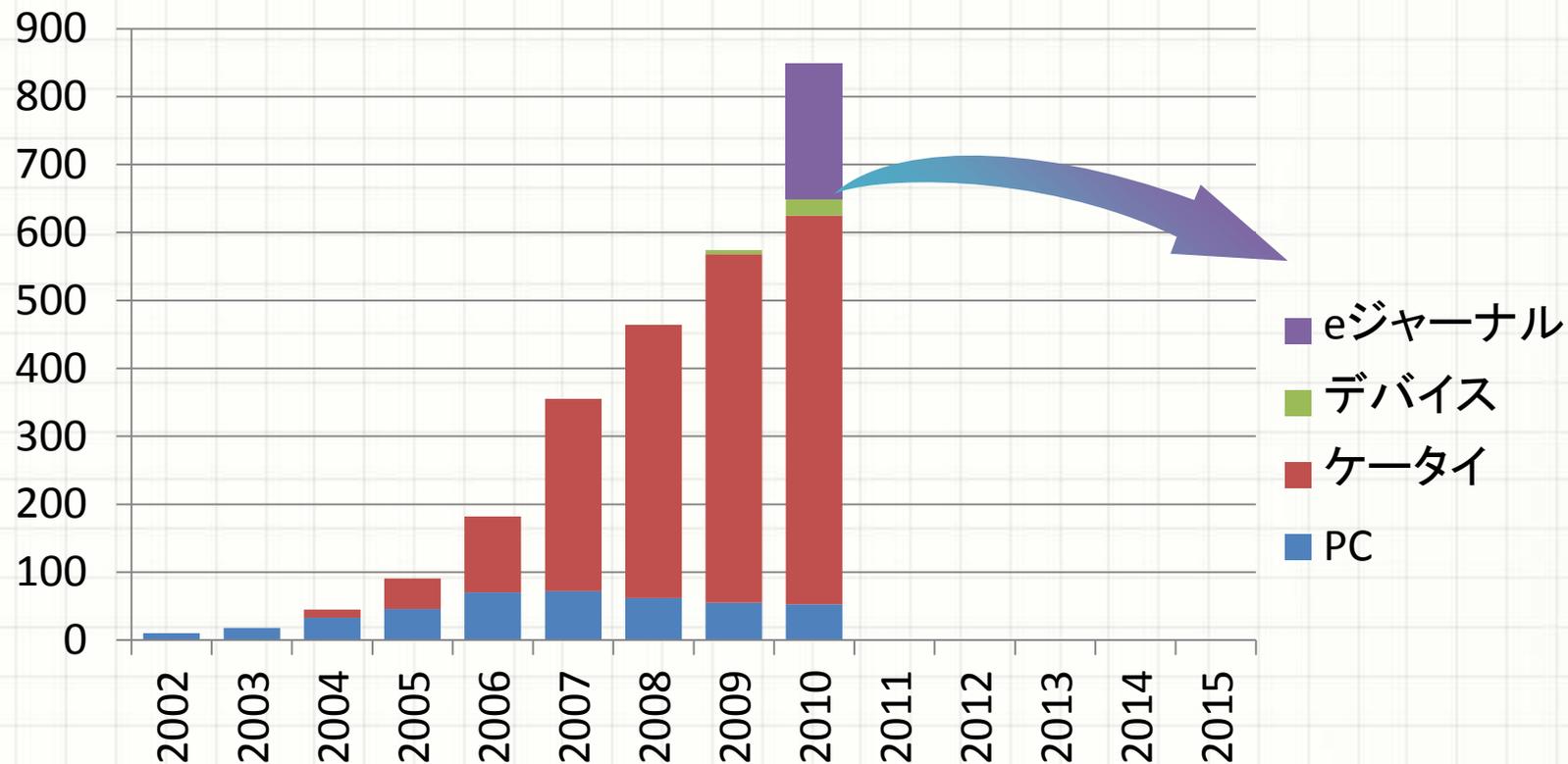
その多様化の一形態としての
電子書籍化はさけられない



デジタル時代の 学術情報流通

電子書籍市場+Eジャーナル市場は？

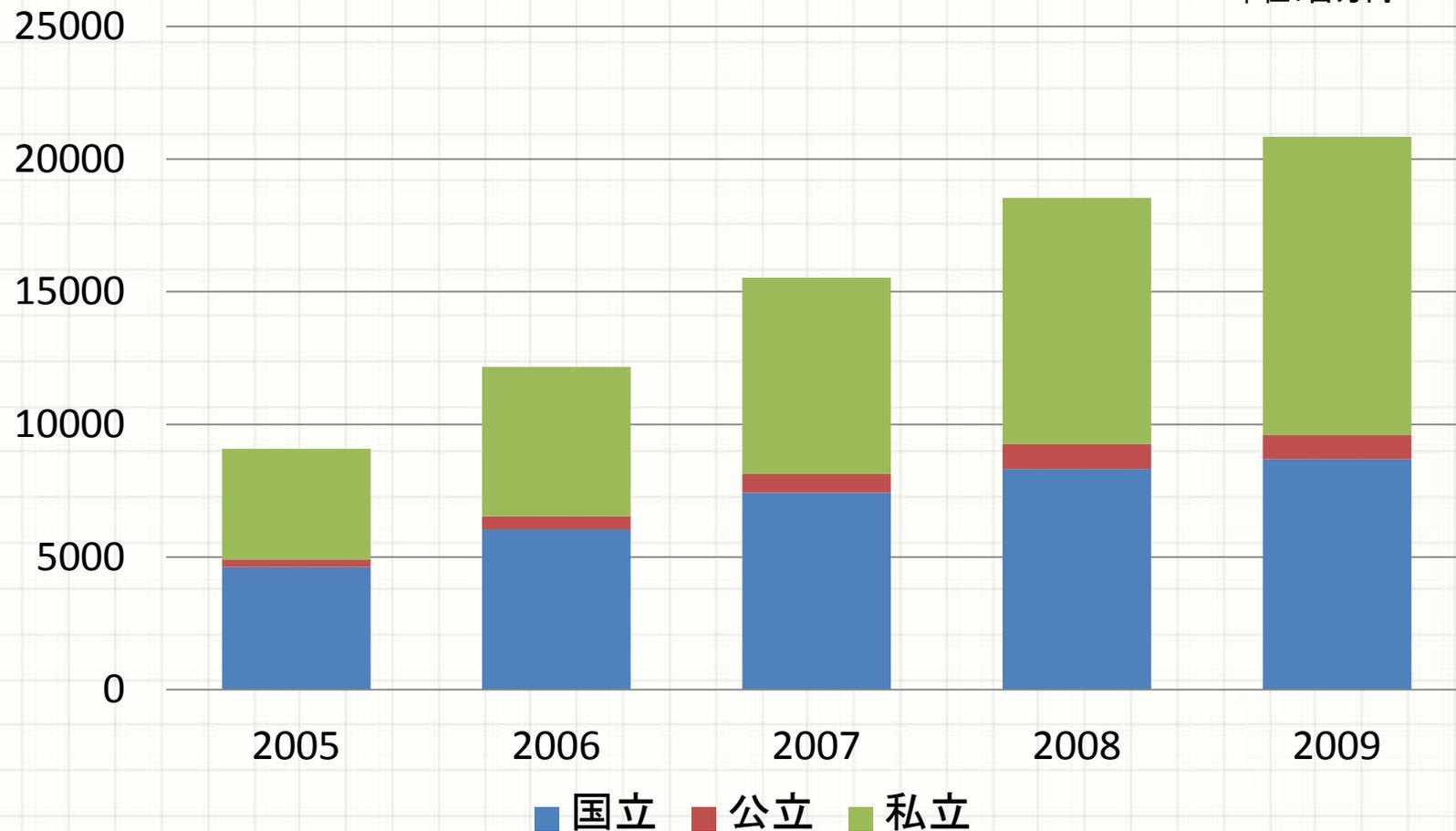
単位:億円



インプレスR&D調査をもとに作成

大学図書館Eジャーナル市場は？

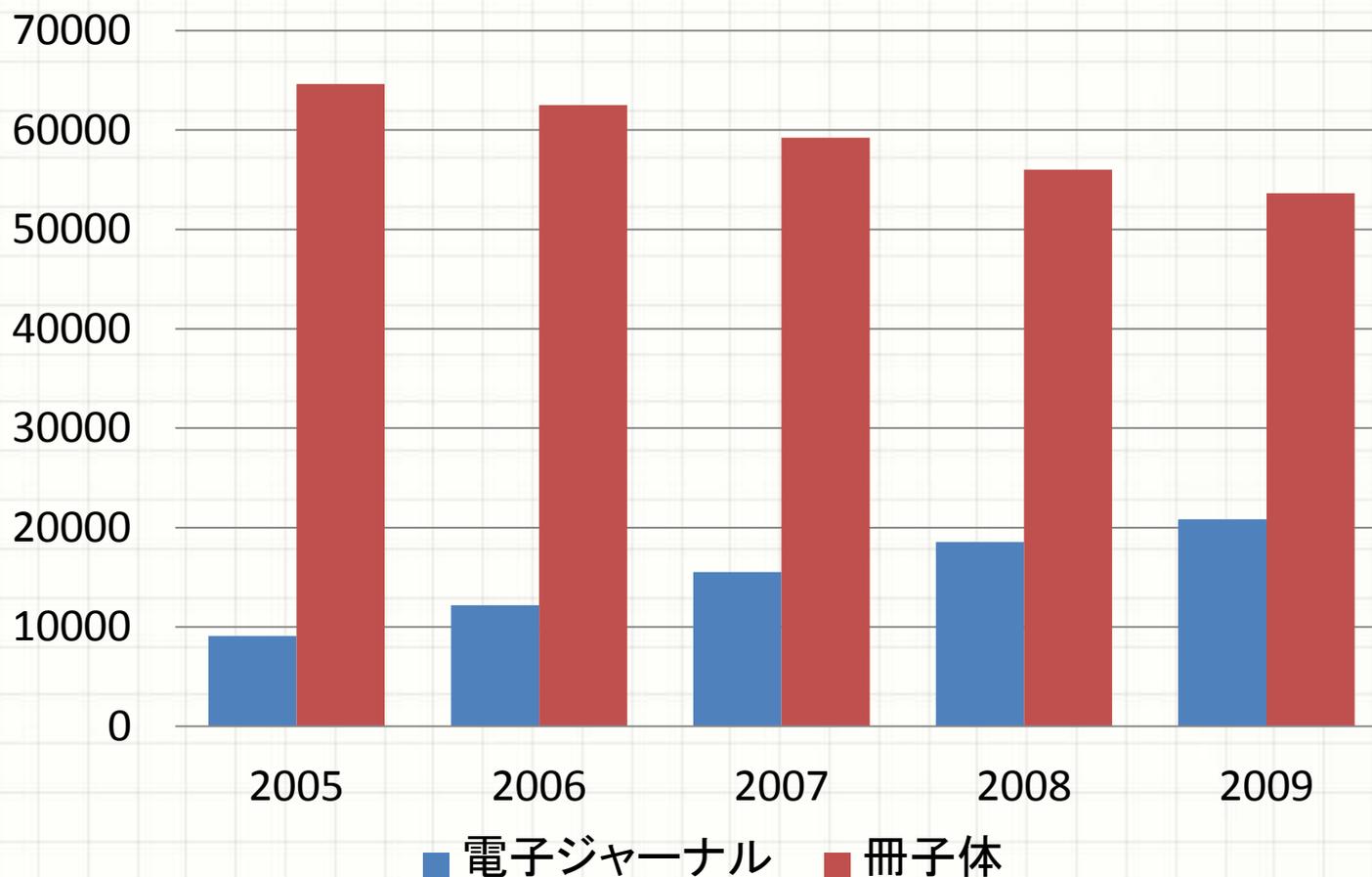
単位：百万円



平成22年度学術情報基盤実態調査

大学図書館 Eジャーナルと冊子体購入費比較

単位:百万円



平成22年度学術情報基盤実態調査

プラットフォーム

Net Library

DNP電子図書館

JAPAN KNOWLEDGE

Amazon Kindle

GoogleBooks

Apple

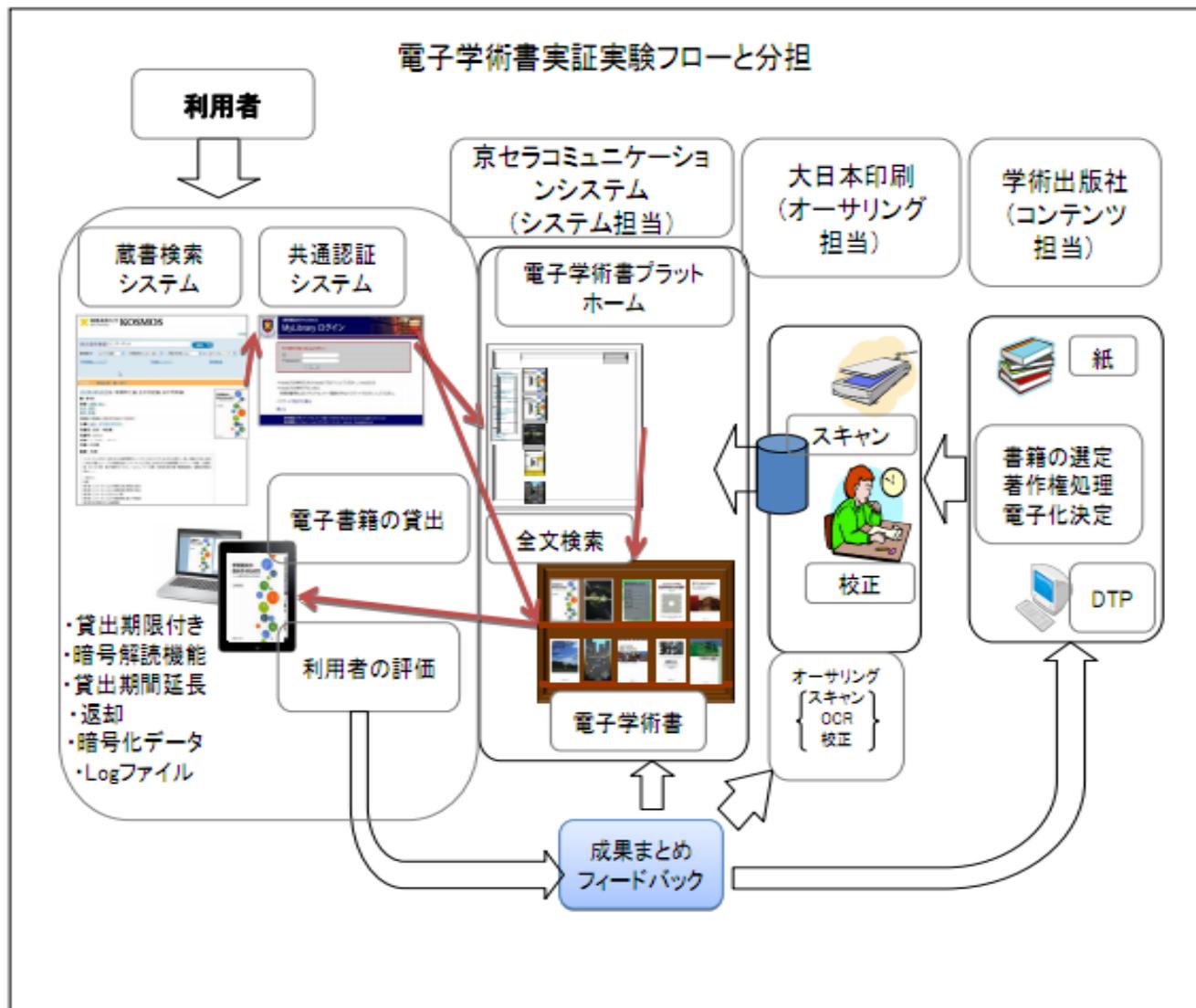
米英国の大学出版事例

- Project Muse
 - 2012より電子書籍
 - メロン財団など
 - Johns Hopkins University Press
- J・STOR
 - 2012春よりBooks at JSTOR
 - メロン財団
 - Chicago, Minnesota, North Carolina, Princeton, Yale, Harvard, Columbia, Cornell, and California
- Oxford University Press
- Cambridge Books Online

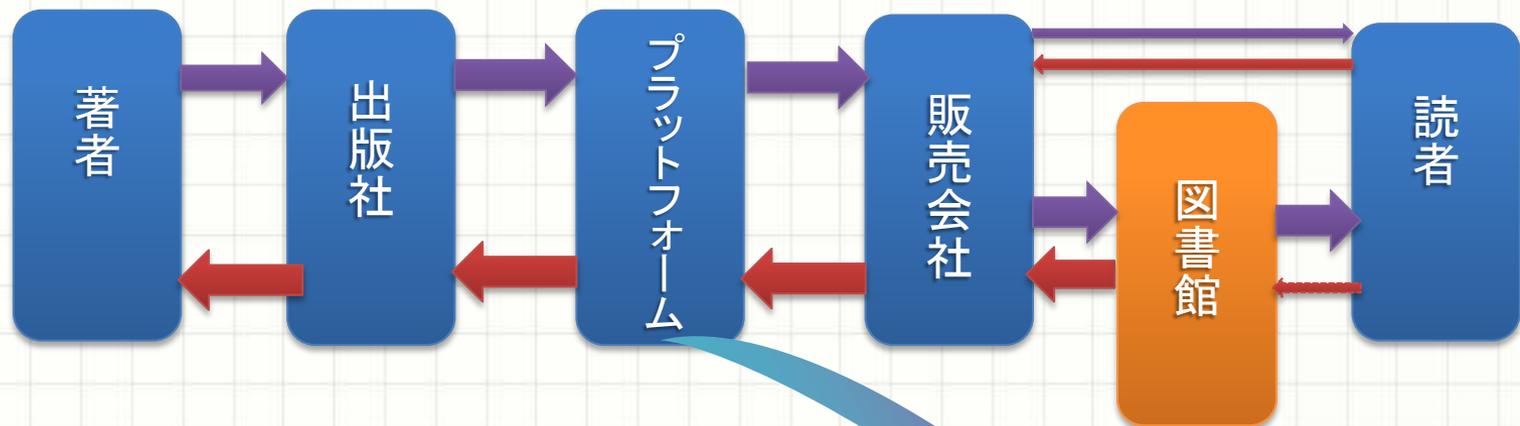
課題

- 困難な著作権処理
 - 印税支払いシステム構築が必要
 - 転載図版などの権利処理はほぼ不可能
- マーケティングモデルがない
 - 価格 買い切り/ライセンス、パッケージ/単品
 - 製品 DRMをどの程度強化するか
 - 宣伝 媒体は？
 - 流通 プラットフォームの選択

慶応義塾大学メディアセンター実証実験



電子学術書籍流通モデル

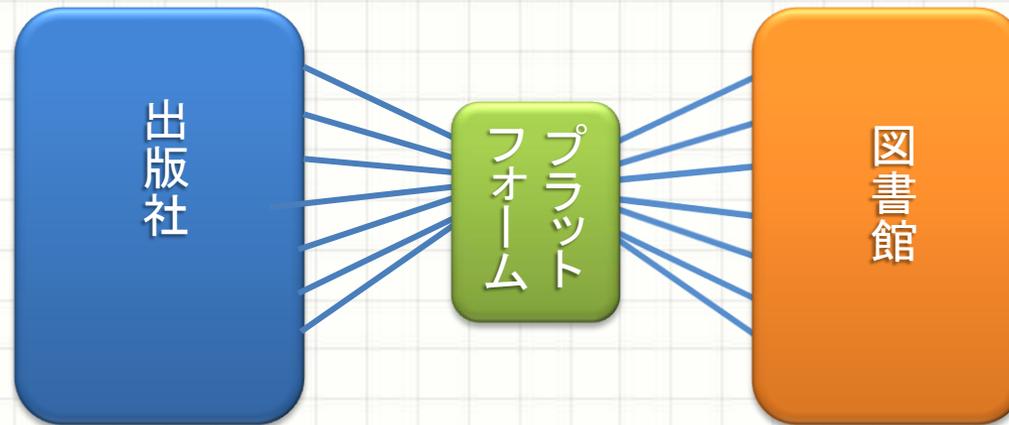


「著者→読者」モデルの可能性は？

「出版社→読者」モデルの可能性は？

英文書籍は海外市場へ

まとめ



例えば、
大学出版刊行の7千点の新刊を毎年配信

例えば、
学術出版社100社の過去30年の学術書20万タイトルをアーカイブ